

**【資料3】**

令和8年3月25日

野辺地町教育員会

教育長 小野 淳 美 様

野辺地町統合小学校新築事業検討委員会

委員長 坂 本 和 康

答 申 書

令和6年10月22日に諮問のあった、町立野辺地小学校及び若葉小学校の統合に併せて行う新校舎等の施設整備事業（野辺地小学校改築事業）の基本設計・実施設計にあたり、より良い教育環境の実現のために必要な事項について、次のとおり答申します。

当委員会では、設計業務を受託した株式会社 石川設計 様の設計プランを基に、統合校舎に求める施設の配置計画や各室への必要な機能及び規模などについて検討してきました。

各委員からは様々な意見が出されましたが、当委員会の検討結果として、以下のとおり意見します。

## ■【1】施設配置計画

### (1) 建物配置

- ・基本構想「3-6 建物配置計画」A案に基づき、現グラウンド側に新校舎を配置。校舎は職員室から敷地の広範囲を見渡すことのできる配置とすること。

### (2) その他

- ・駐車場は職員駐車場を北側に、保護者の送迎や学校行事用としての駐車場を西側に分けて避けるため北と西の2カ所に配置とすること。
- ・西側は駐車場の他、プレイフィールドを設け、プレイフィールドと駐車場の間にメインアプローチを配置し、歩車分離を可能とすること。
- ・敷地内の樹木は工事に必要な伐採樹木以外で、存置の必要性の高い木を確認し、極力残す計画とすること。

## ■【2】ゾーニング

### (1) 1階ゾーニング

- ・校舎と講堂を一体とし、講堂へのアクセスがしやすく、外気に接する壁面積を減らし省エネ効果を高める計画とすること。
- ・中央の舞台段部・DEN スペースで構成される図書エリアは、壁に閉ざされた室ではなく、開放的な空間で交流ができる場を計画すること。
- ・中央の舞台・舞台段部を中心に回廊状の廊下を配置した空間構成で、児童・教師・来校者が交流できる開放感のある廊下と一体的に使用できる多様性のある生活科室を計画すること。
- ・ラウンジ・ホールや舞台上部に吹抜を設け、開放的で見通しが良い空間を計画すること。
- ・通級指導エリアはプライバシーを考慮し通常学級と離し、床仕上げをカーペットとして落ち着いた学習空間を計画すること。

### (2) 2階ゾーニング

- ・吹抜を中心に回廊状の廊下を配置し各方向が見渡しやすい空間構成で計画すること。
- ・ラウンジ・ホールや舞台、回廊状の廊下上部に吹抜を設け、開放的で見通しが良い空間を計画すること。
- ・特別科目は落ち着いて、充実した授業が展開できる北側エリアに計画とすること。

### ■【3】動線計画・諸室計画

#### (1) 平面計画

- ・北側と南側に諸室を集中させ動線を回廊状で明確にすること。
- ・校舎中央列は1階の多目的スペース・ラウンジホール空間と、2階吹抜け周りに多様なスペースを設け職員・来校者・低学年児童・高学年児童の交流ができるよう計画すること。
- ・北側、南側の昇降口は、昇降口全体を風除室にして、廊下との間は戸で仕切り、校舎内冷暖房効率を高めること。

#### (2) 1階諸室計画

- ・普通教室（通常学級）、普通教室（特別支援学級）エリア：1階の校舎南側に低学年の教室を配置。特別支援学級は隔てなく交流できるように通常学級近くに計画すること。
- ・通級指導教室エリア：プレイルームと隣接し、通級指導職員室やトイレを近くに配置し、まとまったエリアの中で日常運用・管理がし易い計画とすること。
- ・特別教室エリア：万が一家庭科室が火元となり、火災となった際の避難の優位性を考慮して、1階に計画すること。
- ・多目的スペースエリア：舞台は校舎中央に設け発表会や地域交流の場に利用できる空間を計画とすること。
- ・事務室エリア：両職員室はグラウンドや北側駐車場、登下校を見守れる位置に計画。北側と南側の昇降口付近に事務室エリアを配置し来校者対応がスムーズに行える計画とすること。
- ・講堂エリア：学校開放用として講堂玄関を設け管理区画が形成しやすい計画とすること。
- ・トイレ・水廻りエリア：校舎西側、北側、東側に分散させて配置し、使用の偏りがないよう計画。水飲み場は各所分散配置して、ゆとりのあるスペースと個数を確保すること。
- ・倉庫：倉庫や教材室を分散配置し収納量を確保すること。

#### (3) 2階諸室計画

- ・普通教室（通常学級）、普通教室（特別支援学級）エリア：2階の校舎南側に中・高学年の教室を配置。特別支援学級は隔てなく交流できるように通常学級近くに計画すること。
- ・特別教室エリア：特別科目が落ち着いて、充実した授業が展開できる北側エリアに配置すること。
- ・多目的スペースエリア：通常学級前に広い廊下を配置し次世代型学習空間を計画。各クラスに配置した可動式コート掛けを仕切りとしてゾーン区分に活用できるもととすること。また、1階から舞台を介して続く多目的スペース（図書コーナー）は本に触れることのできる空間を計画すること。
- ・トイレ・水廻りエリア：校舎西側、北側、東側に分散させて水飲み場を配置しゆとりのあるスペースと個数を確保すること。

- ・講堂エリア：観覧や応援をまとまって行える2階ギャラリーを計画。また、日常の休み時間のほか、スポーツ少年団等のクラブ活動や多様な活動を支援できるまとまったスペースを計画すること。

#### (4) その他諸室計画

- ・吹抜けより、下階に採光を確保するため、PH階に高窓（ハイサイドライト）を計画すること。
- ・設備スペースは、両側のDS近くに配置し配管等の距離、メンテナンスに考慮すること。